

事業所における自己評価結果						
事業所名		りのきっす				
		公表日 令和 8年 1月 26日				
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		設置基準に基づき、十分なスペースを確保しています。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		人員基準に加え、加算要件を満たす人員配置を行っています。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		学習室、運動室、パーテーション等空間を分け配慮を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		毎日の清掃、消毒を行っています。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		必要に応じて使える環境を整えています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		毎朝ミーティング等を行い、資料に残し職員が目を通せるようにしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		評価表を基に、職員会議を行い、業務改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		毎朝のミーティングや、今後の支援方法等について話し合い、改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	7	現在は行っていません	今後必要に応じて、対応していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		計画をたてて、内外部の研修を実施しています	基本的な研修以外にも、職員の声を聴きながらの実践的な研修も増やしていくように努めています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		作成し、公表しています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		面談や連絡帳、お子様の日々の様子からニーズをくみ取り、個別支援計画書を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		面談を行う前や、日々の生活の様子を職員間で共有した上で計画書を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		計画書作成後に、職員間で共有し、書面に書き計画に沿った支援を行えるようにしています。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		必要に応じて、発達検査等の結果をお持ち頂き参考にさせて頂いています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		5領域に沿って、スマールステップを心掛け、具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		年間でプログラムを決定した上で、複数の職員で内容を再度検討。長期休暇の時は、平日にできない事を、取り入れるため、職員の意見を出し合い計画を立てています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		やってみる事を心掛けながら、新しい事にもチャレンジするようにしています。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		個別、集団活動を組み合わせて、個別支援計画書の作成をし、支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		支援開始前に職員間でミーティングを行い、今日の内容を話し合い、チームで連携し支援を行っています。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	3	毎日ミーティングを行い、意見交換をし、共有しています。	翌日には必ず振り返りを行えています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		日々の支援に記録をつけ、次の支援へつなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		6か月に1度は必ずモニタリングを行い、計画書の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	9		ガイドラインのなるべく沿った視点で活動プログラムを立てています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		個々に合わせた、自己決定力を育てるための支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		適任者を選んで出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	3	医療、他事業所、学校と連携をとり支援を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		保護者の方から、情報共有させて頂いています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	4	情報共有できる機会を設ける事ができていません。相談員さんからの情報共有が主になっています。	今後情報共有できる場面を積極的に設けていけるよう努めます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	4	移行先又は相談員からの情報共有の要望があれば、行っています。	今後情報共有できる場面を積極的に設けていけるよう努めます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	4	保護者の方から、情報共有させて頂いています。	今後情報共有できる場面を積極的に設けていけるよう努めます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	7	接する機会を設ける事ができません。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	4	積極的には行えていません	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		面談以外でも、連絡帳、電話等で状況、課題を伝え合い、共通理解を心がけています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	8	面談時に、事業所からのアドバイスを行っています。	保護者向けの研修の機会等、検討していくよう努めます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時に説明をさせて頂いています。また、不明な点があれば随時職員が説明をしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		面談時にしっかりと聞き取りを行い、お子さま、ご家族の意向をしっかりと聞く体制を整えています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		支援内容を説明し、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		定期的な面談時や、それ以外の時の相談にも対応し助言を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2		現在保護者会を行っていません	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		相談や苦情があった場合には、迅速かつ適切に対応するように努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		毎月おたよりで発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		鍵付きの棚で保管しています。	

	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		個々に合わせた配慮を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7	現在行っていません。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		研修を設け職員に周知すると共に、ご家族にも理解しやすく簡潔にまとめたおたよりを配布しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		BCPに沿った研修を行い、定期的に避難訓練等を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		職場間で情報共有しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	現在、医師の指示に基づくお子さまはいません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		定期的に行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		おたよりで、ご家族の方へも発信しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		危険な事例があった場合には、ヒヤリハットに記載し、ミーティングで情報共有や対策を検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		内外研修を、定期的に行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	4	組織的に身体拘束についてはマニュアルを作成していますが、現在、身体拘束に同意を得ているお子さまはいません。	周知徹底していくよう努めます。